

平成 15 年 9 月 18 日
道路事業評価手法検討委員会

道路事業評価手法検討委員会による重み付けに関する意見集約

1. 基本的な考え方

(1) 重み付けの位置付け

委員会委員の総意として、「2. 重み付けの手順（案）」に従い、1つの重み付け数値を設定する。

重み付け結果は、第6回道路事業評価手法検討委員会資料6「3. 高速道路の評価手法について〔基本的な考え方に関する提言〕（案）」において「議論を行ってきている当委員会の学識経験者、地域の代表として、地域の実情・課題を把握している知事、その他の道路の利用者などの国民等、様々な方々から重み付けについて意見をきく」とされているもののうち、「当委員会の学識経験者」による重み付けとして扱う。なお、「その他の道路の利用者などの国民」による重み付けについては、道路関係四公団民営化推進委員会による世論調査結果を活用する。

(2) 重み付け過程の情報公開について

- ① 中立的な重み付けを行うため、重み付けの結果や過程について公表する。
- ② 重み付けの方法、過程、結果については、次回委員会で一括して説明を行う。なお、「2. 重み付け手順（案）」のSTEP 3における議論は、意見交換記録を公表する。

2. 重み付けの手順

評価項目に対する共通の理解を醸成し、重み付け者それぞれが十分に納得のいく重み付けを行うため、各委員の価値基準を十分に反映しつつ、各委員が全体の中で自分の価値基準を確認しながら行い得るよう、重み付けを繰り返し実施する

STEP 1：これまでの地方自治体首長による重み付け傾向、民営化推進委員会の世論調査の結果、19区間のケーススタディの結果や各指標間の相関等を考慮して、1回目の重み付けを行う。

STEP 2：各委員の重み付け結果を集計し、各委員にフィードバックの上、2回目の重み付けを行う。

STEP 3：委員が集まり、各委員の重み付けについて説明するとともに、意見交換を行う。その際、委員会としての重み付けの設定方法について決定する（意見交換の結果、「最大と最小を除いた値による平均値」とすることに決定）。

STEP 4：意見交換を踏まえ、各委員が3回目の重み付けを行う。STEP 3にて決定した委員会としての重み付けの設定方法に基づき、重み付け値を算出する。

委員による重み付け

		森地 茂	小林 潔司	竹内 健蔵	山内 弘隆	太田 和博	堤 盛人	委員会 重み付け
大項目 (有料)	費用対便益	35	40	40	40	40	40	39.5
	採算性	30	30	30	20	20	20	24.7
	波及的影響	35	30	30	40	40	40	35.8
大項目 (無料)	費用対便益	50	50	60	60	60	50	55.0
	採算性	-	-	-	-	-	-	-
	波及的影響	50	50	40	40	40	50	45.0
中項目	住民生活	19	20	18	20	15	18	18.6
	地域社会	19	20	18	10	6	18	16.1
	地域経済	19	20	18	25	9	18	18.6
	環境	19	10	16	15	30	20	17.4
	安全	14	20	20	20	30	18	19.4
	その他	10	10	10	10	10	8	9.9
小項目	高速バス (指標1)	5	5	5	6	2	4	4.7
	新幹線・空港 (指標2)	6	5	5	7	3	4	5.0
	高度医療施設 (指標3)	8	10	8	7	10	10	8.9
	拠点都市連絡 (指標4)	5	5	6	4	2	8	5.4
	日常活動圏 (指標5)	7	5	6	3	2	5	5.1
	観光地 (指標6)	7	10	6	3	2	5	5.6
	物流拠点 (指標7)	7	10	6	9	2	8	7.6
	農林水産 (指標8)	6	5	6	9	5	5	5.5
	地域振興計画 (指標9)	6	5	6	7	2	5	5.5
	NOx、SPM (指標10)	7	3	5	5	10	6	5.7
	騒音 (指標11)	5	4	5	5	10	6	5.2
	CO2 (指標12)	7	3	6	5	10	8	6.5
	迂回路 (指標13)	6	10	7	7	10	8	8.2
	通行規制 (指標14)	4	5	7	6	15	5	5.9
	代替経路 (指標15)	4	5	6	7	5	5	5.3
	創意工夫 (指標16)	10	10	10	10	10	8	9.9

委員会としての重み付けの算出方法は「最大と最小を除いた値による平均値」とし、以下の手順にて算出する。

1. 大項目及び中項目

最大と最小を除いた値での平均値を算出する
合計が100となるように平均値を修正する
(平均値合計がaの場合、 $100/a$ を乗じる)

2. 小項目

最大と最小を除いた値での平均値(小項目平均値)を算出する
小項目が属する中項目毎に、小項目平均値の合計を求める(=b)
bが当該中項目の重み付け値(c:1. で算出)と等しくなるように小項目平均値を修正する
(小項目平均値に c/b を乗じる)

(重み付けは、小数点第2位以下を四捨五入して求める。)

(参考)

委員による重み付け

作業時期		第2回重み付け作業						第1回重み付け作業					
		森地	小林	竹内	山内	太田	堤	森地	小林	竹内	山内	太田	堤
		茂	潔司	健蔵	弘隆	和博	盛人	茂	潔司	健蔵	弘隆	和博	盛人
大項目 (有料)	費用対便益	35	40	40	40	45	40	35	30	50	40	45	40
	採算性	30	30	30	20	5	20	30	40	30	20	5	20
	波及的影響	35	30	30	40	50	40	35	30	20	40	50	40
大項目 (無料)	費用対便益	50	50	60	60	50	50	50	50	80	60	50	50
	採算性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	波及的影響	50	50	40	40	50	50	50	50	20	40	50	50
中項目	住民生活	19	20	20	20	14	20	19	20	25	20	14	15
	地域社会	19	20	21	10	6	18	19	20	25	20	6	25
	地域経済	19	20	14	25	10	18	19	20	10	20	10	20
	環境	19	10	16	15	30	20	19	10	10	10	30	20
	安全	14	20	23	20	30	18	12	20	25	20	30	15
	その他	10	10	6	10	10	6	12	10	5	10	10	5
小項目	高速バス (指標1)	5	5	5	6	2	5	4	5	5	6	2	5
	新幹線・空港 (指標2)	6	5	5	7	2	5	7	5	5	7	2	5
	高度医療施設 (指標3)	8	10	10	7	10	10	8	10	15	7	10	5
	拠点都市連絡 (指標4)	5	5	8	4	2	8	5	5	10	8	2	10
	日常活動圏 (指標5)	7	5	8	3	2	5	7	5	10	8	2	10
	観光地 (指標6)	7	10	5	3	2	5	7	10	5	4	2	5
	物流拠点 (指標7)	7	10	4	9	2	5	5	10	3	7	2	5
	農林水産 (指標8)	6	5	4	9	4	5	6	5	3	7	4	5
	地域振興計画 (指標9)	6	5	6	7	4	8	8	5	4	6	4	10
	NOx、SPM (指標10)	7	3	5	5	10	6	6	3	3	3	10	5
	騒音 (指標11)	5	4	5	5	10	6	5	4	3	3	10	5
	CO2 (指標12)	7	3	6	5	10	8	8	3	4	4	10	10
	迂回路 (指標13)	6	10	9	7	10	8	4	10	10	7	10	5
	通行規制 (指標14)	4	5	9	6	15	5	4	5	10	6	15	5
	代替経路 (指標15)	4	5	5	7	5	5	4	5	5	7	5	5
	創意工夫 (指標16)	10	10	6	10	10	6	12	10	5	10	10	5

(注) 第7回道路事業評価手法検討委員会(10月7日)における資料を訂正